

登録コード	A3592430	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	竹田 謙一
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。						
(5)授業計画	事前に提示されるスケジュールに合わせて、発表の準備をしてください。スケジュールは研究室内に掲示します。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	授業の達成目標の水準からみて『卓越している』／『かなり上にある』／『やや上にある』／『その水準にある』の基準より理解度を評価します。						
(8)事前事後学習の内容	発表内容は分かりやすさを旨として作成してください。 発表時に受けた質問については真摯に対応してください。必要に応じて、発表後に資料を修正してください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答を参考にして総合的に評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。 ktakeda@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者は、成績が評価できません。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						